

「じこしょうかい  
ビンゴゲーム」をしよう

名前

☆ 8ページを読んで、カードの書き方をたしかめ、じこしょうかい  
ビンゴカードを作ろう。

れい

生まれた月 <input type="text"/> は <b>11月</b>	すきなどうぶつは <b>ねこ</b>	すきなゲーム <input type="text"/> は <b>カードゲーム</b>
すきなスポーツは <b>テニス</b>	すきなきせつは <b>なつ</b>	すきな教科は <b>音楽</b>
行きたいばしょ <input type="text"/> は <b>ハワイ</b>	すきな給食 <small>きゆう</small> は <b>カレーめん</b>	すきな色 <input type="text"/> は <b>ピンク</b>

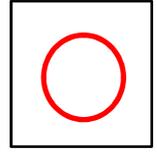
※一つのますに、こたえは一つだけ書きましょう。

☆ つけたして話す練習をしましょう。

(例 わたしのすきなきせつはなつです。海で泳げるからです。)

ふりかえり

しっかり練習できたら □に○を書きましよう。



かえるのびよん

めあて

『かえるのびよん』を音読し、かんそうを書こう。

☆ 『かえるのびよん』を声に出して読み、正しく読めるようになりましょう。

読んだ回数 れい : :  回

※ポイント・・・行と行があいているところは、少し間をとって読みましょう。

☆ 『かえるのびよん』を読んで、好きなどころや、ふしぎに思ったところなど、かんそうを書きましょう。

例 かえるが、いろんなものをとびこえて、ひこうきやおひさままでとびこえるというところが好きです。

とんでいるようすをそうぞうすると、すごくたかくとんだんだな、と、楽しくなりました。

きょうをとびこえて、あしたのほうへきえるというところがふしぎに思いました。

ふりかえり

『かえるのびよん』を音読し、かんそうを書き、に書きましたか。○△でひょうか、に書きました。



かえるのぴよん

めあて

かえるのようすをそうぞうし、「ぴよん」の読み方をくふうしよう。

☆ それぞれの「れん」で、とびこえるものがかわってきます。

それぞれの「ぴよん」をどんなふうに読むかを考えて書きましよう。

《一れん》 ・とびこえるもの…( )

かあさん

( )

とうさん

( )

「ぴよん」の読み方…

れい

はねるように読む。

《二れん》 ・とびこえるもの…( )

じどうしゃ

( )

しんかんせん

( )

「ぴよん ぴよん」の読み方…

れい

一れんより、つよく読む。

《三れん》 ・とびこえるもの…( )

とんでる(ひこうき)

おひさま

( )

「ぴよん ぴよん ぴよん」の読み方…

れい

間をあけて、だんだんつよく読む。

《四れん》 ・とびこえるもの…( )

きょう

( )

「ぴよん ぴよん ぴよん ぴよん」の読み方…

れい

だんだんゆっくり、きえていくようによわく読む。

ふりかえり

かえるのようすをそうぞうし、「ぴよん」の読み方をくふうできましたか。◎○△でひょうかし、□に書きましよう。



白い花びら

名前

◎ めあて

「白い花びら」を読んで、感想や疑問（ぎん）に思ったことを書きましょう。

☆ 教科書の13ページを開いて、「白い花びら」を二回読みましょう。

一回目は、てんまる読み（句読点（、や。）で区切って読む方法）で、二回目は、場面の様子をそうぞうしながら読みましょう。

☆ 読んだ後に、感想やふしぎに思ったことを書きましょう。

（れい） ゆうたとかずきはととてもなかよしだと思った。馬みたいな岩に自分も

乗ってみたいなと思った。

女の子は、どこへ行ったのかな。とつぜんゆうたの前からきえてしまった

ので、ふしぎだなと思った。

白い花びら

名前

◎ めあて

「白い花びら」の登場人物について考えましょう。

☆ 「白い花びら」に登場する人物は何人でしょうか。

( 3 ) 人

☆ 登場する二人の男の子の絵をかいて、文章を手がかりにして、それぞれのせいかくを想像しましょう。

ぼくの名前は  
ゆうた

ぼくのせいかくは、  
(れい)  
弱虫 おくびょうもの  
おとなしい など

ぼくの名前は  
かずき

ぼくのせいかくは、  
(れい)  
元気 リーダー  
わがまま かつぱつ  
らんぼうもの など

白い花びら

名前

◎ めあて

「白い花びら」のあらすじを話してみましよう。

☆ 「白い花びら」のさし絵を見ながら、どんな場面か、せつめいしましょう。

☆ せつめいのできるようになったら、せつめいしたことを書きましよう。

(れい) ゆうたとかずきはたんけんをして、広い野原を見つけた。ゆうたは、そこで、

女の子に出会う。野原には、馬みたいな岩があつて、ゆうたとかずきは、岩に乗

つてあそぶ。あそんでいるときも、ゆうたは女の子のことをふと思つていた。

日曜日、ゆうたは、ふたたび野原に行くと、女の子がいた。二人で黒い馬に

乗つて野原を走っていく。花びらがとんできて女の子はいなくなつてしまった。

野原で、さくら木を見ているゆうたとかずきの上に花びらがふつていた。

☆ あらすじをつくると、物語の内容をかん単にしようか  
いることができます。いろいろな物語のあらすじづくり  
チャレンジしてみましよう。